

意見概要	ご意見への対応
実施計画骨子案第3章の方向性に示された「地域の実情を捉えた学習の推進」の実効性を高めるには、高校内にとどまらず大学や地域へつながる学びとして発展させることが重要である。	いただいた視点を実行計画の策定に生かしてまいります。
庄内総合高校の多様な学びは不登校生徒の増加を踏まえ重要である。ICT 活用に加え対面でのコミュニケーション力向上も必要であり、大学生との交流は生徒が将来を具体的に考える契機となる。	改革先導拠点校④庄内総合高校の「外部連携の内容」に反映させていただきます。
農業分野でも高大連携は有効であり、A I ・ D X 活用には現場理解と実践力が不可欠である。実習を重視する立場から、学生・生徒・教員の交流やデジタル機器の活用を通じて連携を深め、将来の山形を担う農業人材の育成に協力したい。	改革先導拠点校①新庄神室産業高校の実行段階における取組みに生かしてまいります。
選定されなかった地域の高校と地域産業界の関係を懸念する声もある。選定の考え方や今後の取り組みについて、地域や産業界に対し教育委員会からより丁寧な説明を願いたい。	文部科学省が創設を検討している新たな交付金の活用等による支援を検討するとともに、今後も丁寧な説明に努めます。
新庄神室産業高校と専門職大学の連携による D X 農業人材の育成に期待する。農業従事者の減少が続く中、スマート農業による効率化・生産性向上が不可欠であり、地域農業を牽引する人材の育成を望む。また、農業系高校の魅力発信や定員確保に向けたオール山形の取組みが必要であり、広報活動やインターンシップ、就農支援等に協力していく。	改革先導拠点校①新庄神室産業高校の実行段階における取組みに生かしてまいります。
改革を支える体制づくりが重要であり、各校が持つミッションや特色を今回の枠組みの中で発展させる必要がある。そのため、文理双方で山形らしさを生かした教育と産業界・大学との連携体制を明確化すべき。大学として全ての先導拠点校に協力したい。	各先導拠点校における大学等と連携した取組みに生かし、着実に進めてまいります。また、実行計画の策定にも生かしてまいります。
教育改革のノウハウを地域全体で共有する体制が採択の鍵である。県内からの大学進学・県内への就職を増やすためにも、他校への波及を重視してほしい。	改革先導拠点校③山形東高校の「他校への普及方策」に反映させていただきます。また、各改革先導拠点校の取組み及び実行計画の策定にも生かしてまいります。

「山形愛」を育み、地域へ理解と貢献意欲を高めることが重要。先輩への尊敬と同僚への共感力など、協働に必要な人間関係を人との出会いを通じて育みたい。高校生の高い課題解決力を活かせるよう、企業は従来型（ルール順守、正確性第一等）の仕事の進め方を見直し、若者が能力を発揮できる環境づくりを進めるべきであり、そのためにも企業が学校教育に関わることは重要である	各改革先導拠点校の取組みに反映させていただきます。また、いただいた視点を実行計画の策定にも生かしてまいります。
高校教育は学校内だけで完結するものではなく、外部教育資源との連携が不可欠。従来の一方的な「支援」ではなく、互いに学び合う双方向の「協働」の関係構築を目指すべきであり、高校生の柔軟な発想も企業にとって有益な学びとなることから、双方向の連携を期待する。	いただいた視点を実行計画の策定に生かしてまいります。
生徒と外部資源をつなぐコーディネート力が今後教員に求められる重要な要素である。これは従来の教員養成にはない要素であるため、研修等を通じて教員のコーディネート力を高める施策が必要である	いただいた視点を実行計画の策定に生かしてまいります。
建設業は地域を支える重要な産業である一方、担い手不足と高齢化が深刻化している。特に土木系専門高校の志願者減少が続いていることから、志願者確保に向けた取組みが必要である。中学生を対象とした職業体験などを通して高校と連携し、専門高校や建設分野の魅力・認知度向上を図ることを期待する。	いただいた視点を実行計画の策定に生かしてまいります。
建設業界のDX進展を踏まえ、専門高校における最先端技術の学習環境整備と、地元企業と連携した実践的な学びの充実を図り、高校の魅力向上と担い手確保につなげることを期待する。	いただいた視点を実行計画の策定に生かしてまいります。
今回の取組みは、従来の枠組みを越えた本気の改革と理解している。産業界のノウハウを積極的に活用してほしい。併せて、若者の起業意欲に応えるスタートアップ支援や「山形らしい新たな仕組み」を具体化するとともに、人とのつながりや出会いを重視した小中高一貫の人材育成を推進してほしい。	改革先導拠点校③山形東高校の「教育改革の内容」にご意見を反映させていただきます。また、いただいた視点を実行計画の策定にも生かしてまいります。
半導体関連産業は活況だが工業高校機械系学科の志願者は十分ではなく、将来の担い手確保に危機感を抱いている。高校と県内企業との連携を一層強化し、企業説明会や学校訪問等を通じて地域企業魅力を発信するとともに、小中学校段階からものづくり産業に触れる機会を充実させ、担い手育成につなげていきたい。	実行計画の策定に生かしてまいります。